様式４

プロポーザル方式における特定結果書

１．業　務　名　：　村山置賜地区環境調査業務
２．所　　属　：　調査課
３．方　　式　：　拡大型プロポーザル方式
４．公　示　日　：　令和7年1月23日
５．特定通知日　：　令和7年3月3日

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
株式会社　建設技術研究所	×	実施方針、評価テーマにおいて、他者が優位であると判断したため、非特定とした。
株式会社　建設環境研究所	×	実施方針、評価テーマにおいて、他者が優位であると判断したため、非特定とした。
日本工営　株式会社	○	

プロポーザル評価表 （簡易公募型プロポーザル方式【拡大型プロポーザル方式】）

1. 件名　　村山置賜地区環境調査業務

2. 所属事務所　　山形河川国道事務所

3. 技術提案書の特定通知日　　令和7年3月3日

業者名	技術評価の得点内訳							技術評価点合計	備　考	摘　要
	参加表明者の資格及び実績等	参加表明者の成績及び表彰	予定技術者の資格及び実績等	予定技術者の成績及び表彰	実施方針	評価テーマ				
						評価テーマ1	評価テーマ2			
評価のウェート	15.0	30.0	20.0	60.0	65.0	155.0	155.0	500.0		
A者	13.0	24.0	20.0	52.0	42.0	101.0	93.0	345.0		
B者	15.0	26.0	20.0	56.0	39.0	101.0	93.0	350.0		
日本工営　株式会社	15.0	26.0	20.0	36.0	47.0	101.0	109.0	354.0		**特定**

標準様式例8

プロポーザル評価表

1. 業　務　名 ： 村山霞陽地区環境調査業務
2. 所　　属 ： 調査課
3. 方　　式 ： 簡易公募型プロポーザル方式【拡大型プロポーザル方式】
4. 公　示　日 ： 令和7年1月23日
5. 特定通知日 ： 令和7年3月3日

						A者		B者		日本工営　株式会社	
	評価項目		評価の着目点		評価の	評価	点数	評価	点数	評価	点数
◎	参加表明者	企業	技術部門登録		4.0	A	4.0	A	4.0	A	4.0
◎			過去10年間の同種又は類似業務等の実績の内容		9.0	A	9.0	A	9.0	A	9.0
○			ワークライフバランスに関する制度認定の有無		2.0	C	0.0	A	2.0	A	2.0
◎			過去5年間の同種又は類似業務の業務成績		20.0	B	18.0	B	18.0	B	18.0
◎			過去2年間の優良業務表彰の有無		10.0	C	6.0	B	8.0	B	8.0
◎	予定技術者	管理技術者	技術者資格等、その専門分野の内容		10.0	A	10.0	A	10.0	A	10.0
◎			過去10年間の同種又は類似業務等の実績の内容		10.0	A	10.0	A	10.0	A	10.0
◎			過去5年間の同種又は類似業務の業務成績		40.0	B	36.0	B	36.0	B	36.0
◎			過去4年間の優良業務表彰の有無		20.0	B	16.0	A	20.0	E	0.0
○	予定技術者	照査技術者	技術者資格等、その専門分野の内容		0.0						
○			過去10年間の同種又は類似業務等の実績の内容		数値化しない						
○			過去5年間の同種又は類似業務の業務成績		数値化しない						
◎	実施方針 業務フロー 工程計画 その他		業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	25.0		15.0		15.0		20.0
◎			実施手順	業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	15.0		9.0		9.0		9.0
◎			工程表	業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	10.0		6.0		6.0		6.0
◎			その他	代替案、重要事項の指摘内容について有効性が高い場合に優位に評価する。	15.0		12.0		9.0		12.0
◎	評価テーマ1に対する技術提案		的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	80.0		56.0		56.0		56.0
◎				着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。							
◎			実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	75.0		45.0		45.0		45.0
◎				提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。							
◎	評価テーマ2に対する技術提案		的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	80.0		48.0		48.0		56.0
◎				着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。							
◎			実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	75.0		45.0		45.0		53.0
◎				提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。							
合計					500.0		345.0		350.0		354.0
◎	参考見積		提案内容と見積り内容の整合性			○		○		○	